

## 現行計画の状況（平成25年度～26年度）について

## 〈目標指標から見る状況〉

比較的数字が伸びているもの

- ・個別目標2「ボランティアセンター登録者数」
- ・個別目標5「認知症サポーターの数」
- ・個別目標8「介護予防手帳の活用」
- ・個別目標9「子育て支援チーパス加入店舗数」

後退していると思われる指標

- ・個別目標7「成年後見人制度を知っている市民の割合」が減っていること
- ・個別目標8「介護保険サービスの利用の仕方がよくわからないという市民の割合」が増えていること

指標が進んでいないもの

- ・個別目標1「地域福祉計画の進行状況の公表」
- ・個別目標1「住民による福祉資源マップの整備」
- ・個別目標6「災害時要援護者避難支援マニュアルの作成」
- ・個別目標6「避難支援プラン（個別計画）対象者のプラン作成率」
- ・個別目標7「権利擁護体制の整備（市社会福祉協議会）」

災害時要援護者（避難行動要支援者）の支援については、平成28年3月から対象者に調査をかけている状況であり、今後名簿が作成される予定。

権利擁護体制の整備については、平成28年度に実施予定。

## 〈計画の進捗状況から見る状況〉

各施策については、概ね取り組みがなされており、今後も継続していくものとして捉えられる。

個別目標3「支える」の「地域福祉ネットワークの整備」については、高齢者分野における地域ぐるみ福祉ネットワーク会議が行われているが、地域福祉コーディネーターの配置までは至っていないこと、市内連携ネットワークが現在未整備であることから、評価をCとしている。

また、個別目標6「いざという時助けあう」の「要援護者情報の適切な活用」については、25年度、26年度では事業が進んでいなかったため評価をCとしたが、平成28年3月に、要援護者（避難行動要支援者）の把握のため対象者に調査を行っており、収集した情報の活用について今後関係機関と調整していくことになるものと思われる。